

農繁期

レポート

令和5年 8月号

エースファーム

オーナー 株式会社エース
産地 鳥取県日野郡日南町
水田面積 20.1アール
保証量 玄米905kg
形態品種 特別栽培コシヒカリ



生産者 高橋 秀紀さん

今年の夏は暑い日が続き、農作業も大変でした。そんな中でも稲は順調に育っています。7月30日には初めて出穂を確認し、約一週間後には稲穂が出揃いました。例年通りだと思います。

台風6号・7号と接近し日南町も影響を受けましたが、幸い大きな被害もなく安堵したところです。今月末頃には、田んぼも落水作業を行い稲刈りに備えます。これからの日南町は、緑色から黄金色へと景色が変わっていきます。

9月中旬には稲刈りが始まります。収穫まで頑張ります。

8月の作業内容と稲の生長

1. 出穂 (しゅっすい)

茎の中で籾 (もみ) の集合体である「穂」が育まれ、約半数の茎が出穂する時期を「出穂期」、全ての穂がそろって「穂揃い期」と言います。出穂後に稲が葉で光合成したブドウ糖を穂に送り込み貯蔵します。これがお米です。



2. 稲の開花

イネの花を見る機会は少ないと思いますが、このような白い清楚な花を咲かせます。晴れた日の午前中にしか見られません。開花時間はわずか約2時間です。ちなみに1本の穂には100個くらいの花がついています。



出典: Kubota

3. 積算温度とは

平均気温を加算した値のことを言いますが、出穂 (穂から1粒以上の籾が確認できる状態のこと) から45日程度経過し、積算温度が1,000°Cに到達したタイミングが稲刈りの適期と言われています。

4. 刈取適期の判断

日平均気温が22°Cだとすると、出穂後約45日で成熟期を迎えます。(積算温度で約1,000°C)そして、籾の9割くらいが黄色くなってくれば(黄化といいます)、いよいよ刈り取り適期となります。

5. 草刈りが大切

農業は常に草との戦いです。特に今年は梅雨の長雨により草の勢いが通常よりも強めでした。この時期の草刈りはカメムシの混入を防ぐためにも特に大切な作業となります。カメムシの被害を受けたお米は黒く変色します。

